

# 活動報告

10月30日

## 香小研・学校図書館部会研究発表会



高松市立太田南小学校で開催された、香川県小学校教育研究会・学校図書館部会研究発表会を見学に参りました。「豊かに関わり、学び続ける

子どもの育成～図書室の中の学校づくりを通して～」の主題のもと、学校が地域とも一体となって取り組んできた素晴らしい取り組みでした。

1月24日

## ヒトコ法人設立10周年記念祭



「hito.gotoフェス」(ヒトコ法人設立10周年記念祭)が開催され参加しました。「人と社会を心でつなく」をミッションに、就労移行支援と居場所・参加支援を展開し、不登校やひきこもり支援にも尽力いただいています!

## 会計報告(政務活動費)

令和7年度(4月～2月)

経費の区分	金額
1 調査研究費	110,490
2 研修費	0
3 広報費	338,352
4 広聴費	0
5 要請・陳情活動	0
6 会費	24,200
7 資料作成費	10,650
8 資料購入費	52,608
9 人件費	0
10 事務所費	0
合計	536,300円

\*高松市議会のホームページで全ての領収書を公開しています。

## 市民相談件数

2025年10月～2026年2月 42件【累計 2,524件】

ご相談やお気づきの点がありましたら、お気軽にお問い合わせください。

## 主な活動実績 2025年10月～2026年3月

- 10月6日 たかまつ讃岐てらす財団事業報告会に参加
- 16日 高松市戦争犠牲者追悼式に参列
- 16日 創造都市政策セミナーin高松市に参加
- 30日 香小研・学校図書館部会研究発表会を見学
- 31日 高松市オーガニック給食を考える会の「市長まちかどトーク」に同席
- 11月6日 建設消防常任委員会の視察(川口市)
- 7日 建設消防常任委員会の視察(市川市)
- 9日 中部支援学校・オリーブ卒業生親の会さんが主催する「二十歳を祝う会」に参加
- 12日 ヨハネの里・相談協力員会に出席
- 14日 全国清掃事業連合会香川地区研修会に参加
- 12月5～23 第6回 高松市議会定例議会
- 8日 公明党議員会派で市長に予算要望
- 12日 香川県行政書士会研修会に参加
- 15日 一般質問に登壇(48回目)
- 1月4日 高松市芸術団体協議会の新春交流会に参加
- 12日 高松市消防出初式に出席
- 22日 せとうちHRフォーラムに参加
- 24日 まちたね教室2025最終発表会に参加
- 24日 hito.toco法人設立10周年記念祭に参加
- 27日 芸術士事業・三者懇談会に参加
- 2月18日 高松観光コンベンション・ビューロー交流会に参加
- 3月9～26 第7回 高松市議会定例議会
- 3日 未来気象地域×研究者交流会 @高松市弦打地区に参加
- 11日 質疑に登壇(49回目)

高松市議会議員 春田 敬司 と明日を考える。

vol.25  
2026.3

# 春風通信



## 平和と人の幸せを真ん中に! 中道政治の勢力を拡大して参ります!

今、世界はインフレの進行と国際秩序の動揺の中で、極端な思想や社会の不安を利用して、分断を煽る政治的手法が台頭し、社会の連帯が揺らいでいます。対立を煽り、分断を深める政治ではなく、対立点を見極め、合意形成を積み重ね、生活者ファーストの政策を着実に前へと進める中道政治の力が求められていると考えます。

### 令和8年度予算要望を提出



12月8日に公明党議員会派5人で大西秀人市長に対し、令和8年度の予算要望書を提出しました。

議会質問や日頃の市民相談を通じて寄せられた声を基に意見をとりまとめ、155項目にわたり予算化を求めました。

今なお厳しい物価高に苦しむ市民の暮らしを守ることを大前提に、暮らしに一番身近な政治家として、上辺だけのパフォーマンスではなく、また高齢者や若者の為といった社会を分断するような目先の提案ではなく、誰一人取り残さない持続可能な取組みとなるよう意を用いました。

編成された予算には、提案の多くが盛り込まれ、3月議会で審議・議決されました。

### 高松の活気あふれる未来を創る!

今回の予算の特色は、地域経済の好循環と市民生活の充実を両輪として、誰もが安心して暮らし、挑戦し、未来に希望を持てるまちづくりの実現を目指したものととなりました。

特に5つのテーマ、①「若者・女性にも選ばれるまちづくり」、②「コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくり」、③「デジタルでつながるまちづくり」、④「イノベーションを生み出すまちづくり」、⑤「共生・共創・協働のまちづくり」に重点を置き、特色ある取組が推進されます。また、物価高への対応など、喫緊の行政課題に対応するため、過去最大の予算規模となりました。



## 情報コーナー

### 高松市応援給付金について

国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、食料品等の物価高騰による負担を軽減するための臨時的な支援措置として、高松市生活応援給付金を給付します。

**支給対象者:**基準日(令和8年3月1日)時点において、高松市の住民基本台帳に記録されている者  
※物価高対応子育て応援手当の対象児童(平成19年4月2日以降に出生した方)を除く

**給付金額:**支給対象者1人につき5,000円

**支給方法:**世帯主の口座に世帯員分を含めて支給

**手続方法:**支給対象者となっている世帯主には、「支給のお知らせ」(ハガキ)を4月末から順次発送予定、または「確認書」(封筒)を5月中旬から順次発送予定を送付します。

## 春風通信 Vol.25



高松市議会議員

# 春田 敬司

はるた けいし



オフィシャルサイト

<https://www.haruta.jp>

E-mail: [info@haruta.jp](mailto:info@haruta.jp)



公式Line登録はこちら▶



## 春風通信 はるかぜつうしん Vol.25

発行者:高松市議会議員 春田敬司  
連絡先:高松市香西東町14番地8

発行日:2026年3月  
電話:087-881-6411

# 1. 令和8年度当初予算案の特色

## 一般会計当初予算案 1,928億円

(1) 一般会計の規模は、対前年度比84億円(4.6%)の増

「人がつどい 未来に躍動する 世界都市・高松」の実現に向けた特色ある取組を推進

子育て支援・学校教育の充実



若者・女性にも選ばれるまちづくり



コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくり



デジタルでつながるまちづくり



イノベーションを生み出すまちづくり



共生・共創・協働(3キョウ)のまちづくり



防災・減災対策の充実



物価高騰による影響を受けた  
市民や事業者への支援

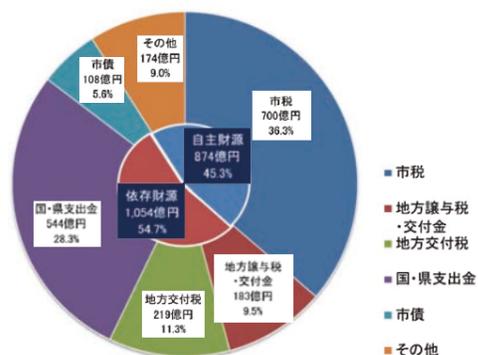


(2) 重点取組対象事業は、73事業・88億円を計上

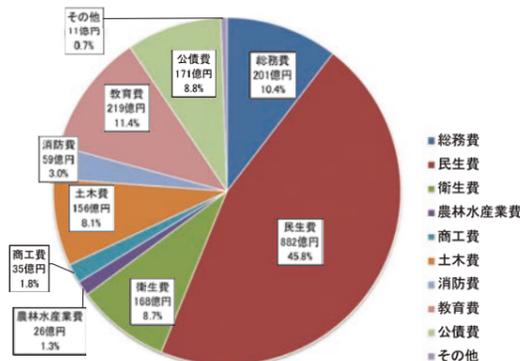
(3) 物価高など喫緊の行政課題に対応するため、予算規模は過去最大

# 2. 一般会計歳入・歳出予算款別表

令和8年度当初予算 一般会計歳入予算  
(総額: 1,928億円)の内訳



令和8年度当初予算 一般会計歳出予算  
(総額: 1,928億円)の内訳【目的別】



## 新年度予算に反映された春田の主な実績

- 若者等の孤独・孤立対策の拡充  
瓦町フラッグ5階で相談や社会参加に向けた実践的な教育活動の実施
- 地域の担い手確保(共助の基盤づくり事業の拡大)  
大学等と連携した新たな担い手確保
- 中小企業の新製品開発や既存製品の付加価値化に対する補助 (\*12月議会で提案)
- 中小企業の脱炭素化を促進 (\*12月議会で提案)  
中小企業版SBT認定やCO2排出量算定ツールや削減目標設定などに係る経費を補助
- イベントマップの構築(地理空間データ基盤機能拡充)

# 高松市議会定例会での質問から

令和7年12月議会&令和8年3月議会



\*詳しい内容はインターネット(議会中継)でご覧になれます。



2025年12月13日(金) 一般質問の項目

1. 「ものづくり産業」支援について
2. 大規模災害時における情報の管理について
3. 自殺対策の抜本的強化について
4. 子どもの育ちを支援する学校図書館の更なる充実について

### Q1.ものづくり産業支援について

高松の製造業が将来も活躍し続けるには、「環境(GX)」と「デジタル(DX)」への対応が欠かせません。特に今、世界では「製品を作る時にどれだけ二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を出したか」が厳しくチェックされています。中小企業がこの流れに取り残されないよう、市が全額補助してCO<sub>2</sub>排出量を計算・分析する支援を行うべきです。また、伝統ある「高松の家具」は、需要が増えているオフィス用家具市場に注目すべきです。これまでの機械設備への補助だけでなく、デザインやブランド作りといった「目に見えない価値」への支援を強め、全国にアピールすることを提案しました。

### 市長の回答

中小企業の脱炭素化を助けるため、CO<sub>2</sub>の測定や新しい設備への支援を広げます。また、家具産業についても、新しい市場に向けた製品開発や、売り先を広げるためのサポートをしっかりと行っていきます。

\*新予算に盛り込まれました(左項参照)

2026年3月10日(火) 質疑の項目

1. 木造住宅密集地域の抜本対策と事前復興のまちづくり
2. 社会的処方による孤独・孤立対策の抜本的強化
3. 高次脳機能障害者への支援体制の構築

### Q1.木密地域の火災対策と事前復興のまちづくり

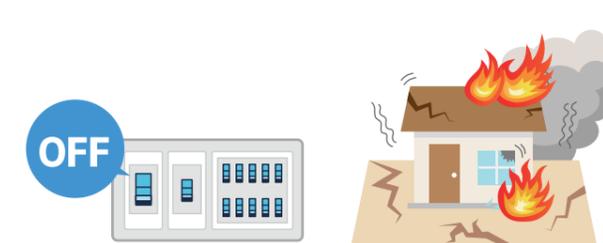
地震火災から命を守るため、もっと大胆な支援が必要では? 南海トラフ地震に備え、古い木造住宅が並ぶ地域や狭い道での火災対策は急務です。私は、東京都などの事例を参考に、古い家の解体や建て替えへの補助金を県内最高水準の160万円以上に引き上げるなど、市がもっと予算を投じるべきだと訴えました。また、地震の揺れで電気を止める「感震ブレーカー」を重点地域の高齢者世帯などへ無料で配ることや、震災後のまちづくりをあらかじめ住民と話し合っておく「事前復興ワークショップ」の開催を提案しました。

### 市長・局長の回答

市は火災対策の重要性を認め、来年度の計画見直しの中で、より安全な住まいづくりのための新しい施策を検討します。感震ブレーカーの補助については今後の課題としますが、普及には力を入れます。また、来年度から「事前復興」の考え方を市の計画に盛り込み、住民の皆さんと話し合う場(ワークショップ)の開催も検討していきます。



詳しくは右QRで



詳しくは右QRで

